YouTube
『平沢健一郎 久喜市議会議員 公式チャンネル』
市政情報を動画配信

久喜市議会議員
会派：新政久喜

平沢健一郎

市議会報告だより

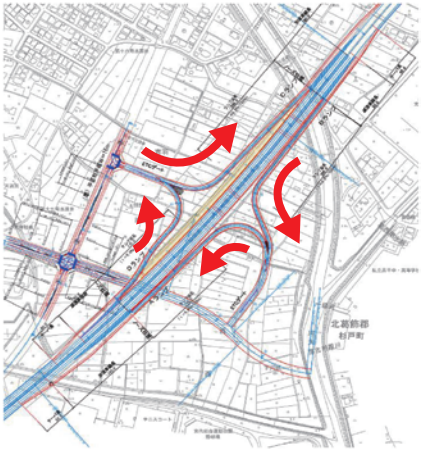
第３２号　令和２年１２月号

住所　久喜市菖蒲町菖蒲150番地
電話　0480-85-0033
HP　http://www.hira-ken.jp
メール　info@hira-ken.jp

圏央道スマートIC国と協議

ハーフ・インターチェンジで検討

久喜市は、久喜駅東口周辺開発として、国交省など関係機関との協議中の圏央道のスマートインターチェンジ（ＩＣ）案と、その途中経過を公表しました。その案は、上り線と下り線の接続を久喜東停車場線と平沼和戸線と別々に接続する本線直結型であり、上下線の料金所が２カ所に分散する短所と交通の簡素化や安全面の長所があり、概算事業費は約44億円と試算しています。



久喜駅東口　スマートインターチェンジ案

しかし、関係機関との協議で事業費の上限が30億円以内にするよう条件が示されました。圏央道は高架橋のため、事業費の削減が難しく、出入りロの数が半減するハーフ・スマートインターチェンジで久喜市は進める意向です。ハーフスマートＩＣとは、上り線と下り線の出入り口４つの機能を、２つにすることで、事業費を半分までに削減できると見込んでいます。ハーフスマートＩＣの検討のため、久喜市は「将来交通量推計」や「移動時間短縮効果」の調査を行います。

市長の公約である、スマートＩＣは、久喜駅東口だけでなく菖蒲パーキングエリアもあげています。近隣市から注目されており、久喜市の交通インフラは更に発展していくことを臨んでいます。

コロナ禍での不安低減に感染者の治療状況の公開を

連日のコロナ報道により、高齢者から「聞いているだけで、怖い」という多数の意見を頂いています。巣ごもりのなか、過度にメディアの報道を浴びる環境にいると精神衛生上良くないと私は心配しています。そのため、身近な久喜市の感染者の治療状況等の情報を知っていただくことが大切だと考えました。

久喜市は市内の感染事例を公表していますが、累計での数です。感染者数は減ることがなく、積み上がります。感染者の治療が終わっても、その実態はわかりませんでした。市内の感染状況を正確に把握するため、私は９月議会で感染者のその後の状況を公表することを求め、随時ホームページで公開することになりました。

久喜市の感染者数　（11月15日現在）

月日	陽性者数（累積）	現在の患者数	入院中	宿泊療養	自宅療養	退院・療養終了
11月15日	80	13	9	4	0	67
11月1日	65	5	3	2	0	60
10月15日	58	7	6	1	0	51
10月1日	54	10	10	0	0	44
9月15日	44	7	6	1	0	37
8月27日	36	5	3	2	0	31

新型コロナ感染者の治療状況をHPで公開

公開するのは、現在の患者数と入院・宿泊療養などの内訳、退院・治療終了者数です。死亡者は公表されません。感染者の状況を併せてみることで、市内感染状況の把握できるようになり、感染症対策に活かして欲しいです。

また、市内の検査体制は、保健所だけでなく医師会もＰＣＲ検査を行っているので、整備されつつあると認識しています。感染リスクの高い施設で陽性者が出たら、濃厚接触者はもちろん、そうでない方も検査を行っています。

最近では、自院でＰＣＲ検査や抗原検査を行う病院や診療所が増えてきています。

コロナ禍で、冬場の感染拡大が予想されていますが、メディアの報道に過度に恐れず、個人が冷静に状況を把握し、感染対策を行っていただきたいと願っています。

市街化調整区域 業者による分譲住宅に制限

久喜市は、市街化調整区域の開発許可基準の見直しを行います。この見直しで、不動産業者が当区域内の農地を仕入れ、住宅分譲することが規制されます。

これは、埼玉県の改訂に伴い、都市計画法第34条第12号の規定に基づく、いわゆる分家住宅を建設する審査基準が令和３年10月から改正され、当区域の所有権仮登記を伴う住宅建設が規制されます。

この規制により、不動産業者が実質的に農地を購入し、開発要件の該当者に住宅用地を分譲する行為が規制されます。